金ケ崎要害と城下町
－人々の技術と学び－

学問習得のために、二の丸に「明興館」を設けて家臣の教育を行っていました。

武術としては裏門小路にあった「剣槍試合場」などで剣術と槍術、北上川では水練（水泳）の鍛錬を行いました。矢来丁には「鉄砲判場（弓や鉄砲の練習場所）」があり鉄砲術の鍛錬につとめました。

孔子立像

侍屋敷の様子（江戸時代後期）

侍屋敷はサワラヒバなどの生垣で区画され、小路（道路）に面して間口は狭く、奥行きが広くなっています。小路に近いほうが居住空間であり、奥のほうが生産空間（畑など）となり、金ケ崎の侍は畑仕事などもする、半士半農の生活をしていました。

金ケ崎要害と交通
―奥州街道と北上川―

金ケ崎には奥州街道沿いに町人町があり、宿場が設けられました。この宿場を金ケ崎宿と言います。

また、北上川は米などを運ぶ重要な交通路として利用されていました。

町指定史跡　奥州道中一里塚

金ケ崎の文化・歴史

奥羽山脈の駒ケ岳の麓に拓けた金ケ崎町は、水と緑の豊かな町です。

金ケ崎町には、鳥海柵跡、城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区、南部領伊達領境塚などの全国に誇る数多くの文化財が、今日に伝えられています。

金ケ崎要害と領境
－伊達領・南部領－

豊臣秀吉の奥州仕置き後の天正 19 年（1591）に伊達氏と南部氏の領地が決められました。しかし、金ケ崎地域は領境にあり、その後も争いが絶えませんでした。領地が最終的に決定したのは寛永 18 年（1641）で領境は駒ケ岳山頂から太平洋唐丹湾にいたる約 130 kmでした。

相去六原道之全図

大町氏八代　盛頼肖像画

金ケ崎要害と城下町
－金ケ崎城主－

近世における金ケ崎城（要害）は、慶長 6 ～ 19 年（1601 ～ 1615）を桑折氏、元和 2 ～ 寛永 6 年（1616 ～ 1629）を留守氏が治めていました。その後 15 年間城を治めるものはいませんでしたが、正保元年～明治 2 年（1644 ～ 1869）には伊達氏一族である大町氏が 225 年間治めました。

金ケ崎要害の全容
―姿と成り立ち―

仙台藩は家臣が藩主から直接領地（知行地）を与えられ、領地から収入を得る地方知行制による統治を行っていました。

領地を治めるため、領境、主要宿場、交通の要地といった重要拠点にある要害に家臣を住まわせ、藩の支配体制を整えました。

胆沢郡金ケ崎要害屋敷絵図　宮城県図書館蔵

城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区

平成 13 年（2001）、城（要害）と武家町のほぼ全域が国の選定を受け、江戸時代の町並みを伝える歴史遺産として保存しています。

町並みの骨格は正保元年（1644）に所替えになった大町備前定頼によって整備されたといわれています。

片平丁・旧大沼家侍住宅

藩境の緑ゆたかな要害

金ケ崎町城内諏訪小路
重要伝統的建造物群保存地区

金ケ崎要害歴史館

岩手県金ケ崎町

金ケ崎要害

仙台城と仙台領の城・要害
（日本城郭史研究叢書第二巻 小林清治編より一部改変）

仙台領要害一覧表

要害	領主	家格
亘理郡小堤村	伊達氏	一門
宇田郡新地谷地小屋村		
伊具郡角田本郷	石川氏	一門
遠田郡涌谷	伊達氏	一門
登米郡寺池	伊達氏	一門
伊沢郡水沢	伊達氏	一門
柴田郡川崎	伊達氏	一門
玉造郡岩出山本郷	伊達氏	一門
江刺郡岩谷堂	伊達氏	一門
柴田郡船岡	柴田氏	一家
栗原郡佐沼	亘理氏	一家
亘理郡坂本本郷	大条氏	一家
栗原郡高清水	石母田氏	一家
伊沢郡金ケ崎	大町氏	一族
伊具郡金山本郷	中島氏	一族
江刺郡上口内	中島氏	一族
江刺郡人首	沼辺氏	一族
遠田郡不動堂	後藤氏	宿老
名取郡岩沼	古内氏	着坐
刈田郡平沢	高野氏	着坐
栗原郡宮沢	長沼氏	着坐
以上21箇所		

伊達氏家臣団は、門閥、平士、組士、卒の四等級に区分される。門閥はさらに一門、一家、準一家、一族、宿老、着坐、太力士、召出の八等級に区分される。

出典　宮城県史　推定　宝暦末年

「要害」とは「城」に準ずる軍事的支配拠点です。一国一城令により「金ケ崎城」は名称を「金ケ崎館」と変え、幕府は要害として城に準ずる取り締まりをしました。

金ケ崎要害は「仙台藩21要害」の一つで、仙台藩の北端を守る防御の要でした。

元和元年（1615）、江戸幕府は一国一城令を定めました。仙台藩は幕府に対しての功績が認められ、特別に仙台城以外にも、白石城が正式な「城」として認められました。

仙台藩は、城以外として各地に「要害」「所」「在所」を置き、重臣とその家臣団を配置して、小城下町を形成しました。これを仙台藩の「要害制」と呼びます。

ご利用案内

開館時間／午前9時～午後5時
休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）
　　年末年始（12月29日から1月3日）
観覧料／一般200円（20名以上の団体150円）
　　高校生以下無料

交通案内

電車／ＪＲ金ケ崎駅より徒歩約15分
バス／岩手県交通下城バス停より徒歩5分
車／北からは北上金ケ崎ＩＣより10分
　　南からは水沢ＩＣより5分

金ケ崎要害歴史館

岩手県胆沢郡金ケ崎町西根達小路2番地1
Tel 0197-42-3060　Fax 0197-42-3061